

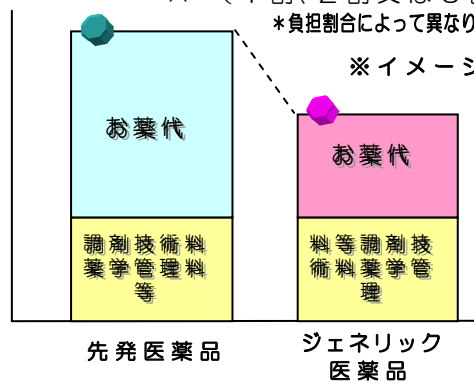
ジェネリック医薬品を使うと、どのくらい安くなるの？

ジェネリック医薬品の公定価格（薬価）は先発医薬品と比較して約2～7割と安くなっています。

保険薬局で実際に支払うお薬代は、保険によりその金額の1～3割であるので、先発医薬品をジェネリック医薬品に変更しても、医療費の負担がほとんど変わらない場合もあります。

しかしながら、高血圧や糖尿病などの生活習慣病のお薬のように、長く飲み続ける必要がある場合は、1回に負担する金額があまり減少しなくても、長い期間を通してみると、ある程度の金額を節約できます。

薬局の窓口で支払う金額＝
（お薬代＋調剤技術料・薬学管理料等）
×（1割、2割又は3割）
*負担割合によって異なります。



*調剤技術料は、後発医薬品調剤体制加算の届出状況等により薬局ごとに異なる場合があります。

ジェネリック医薬品の注意点

- ! 先発医薬品によっては、ジェネリック医薬品が発売されていないものがあります。
- ! 病気や体質によっては、医師の判断により、先発医薬品からジェネリック医薬品に変更できないことがあります。
- ! 医療機関や薬局により、取り扱っているジェネリック医薬品が異なります。
- ! 薬局に在庫がないとき、お薬を用意するのに時間がかかることがあります。

まずは、
医師・薬剤師にご相談ください。



お問い合わせ

福岡県保健医療介護部
薬務課（監視係）
電話：092-651-1111(代)
092-643-3285(直通)

公益社団法人福岡県薬剤師会
薬事情報センター
くすりなんでもテレホン
電話：092-271-1585

資料 4

ジェネリック医薬品 Q&A

「ジェネリック医薬品」って最近よく耳にしますが、「なぜ安いのだろう?」、「品質や効果はどうなのだろう?」といった疑問をお持ちではないでしょうか。

このQ&Aは、そんな疑問にお答えし、多くの方にジェネリック医薬品をより身近なお薬として、安心して使っていただくために作成しました。